

令和7年度 第2回 大磯町子ども・子育て会議 会議録

1. 日 時

令和7年10月16日（木）

開会時間 午後3時00分 閉会時間 午後4時40分

2. 場 所

大磯町立福祉センターさざれ石 2階レクリエーション室

3. 出席者

【委 員】

| | |
|--------|--------|
| 篠田 聡 | 委員 |
| 松井 節子 | 委員 |
| 高橋 明子 | 委員 |
| 高橋 聡子 | 委員 |
| 芝 園枝 | 委員 |
| 加藤 敦子 | 委員 |
| 山口 有美子 | 委員 |
| 加藤 愛子 | 委員 |
| 金子 智紀 | 委員 |
| 石井 彩 | 委員 |
| 尾里 育士 | 委員（会長） |

【事務局】

| | |
|-------|---------------------|
| 高橋 正寿 | こども政策・子育て支援対策本部担当課長 |
| 吉川 淳一 | 副主幹兼保育園・幼稚園係長 |
| 山下 優弥 | 子育て支援係長 |
| 田中 天馬 | 子育て支援係主事補 |

【欠 席】

| | |
|-------|----|
| 成田 麻紀 | 委員 |
| 望月 展弘 | 委員 |
| 加藤 恭子 | 委員 |

4. 傍聴者

0人

5. 議 題

- (1) 令和7年度こども・子育て応援アクションプログラムの実施状況について
- (2) こども計画推進に係る意見・提案の整理について
- (3) 乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）について

6. その他

議題

(1) 令和7年度こども・子育て応援アクションプログラムの実施状況について

事務局から、「令和7年度こども・子育て応援アクションプログラムの実施状況」の説明を行った。

<意見等>

【委員】

「こども・子育て支援ポータルサイト構築事業」について、現在、町内の各園、学校、学童でそれぞれが違う通知アプリから連絡を行っていると思うが、可能であればポータルサイト内に各施設からの連絡が一括で分かる項目を作っていただきたい。

【事務局】

町でも各施設、それぞれ違うアプリから連絡事項を通知していることは把握している。ポータルサイト内で各施設の連絡内容を示すことは難しいが、町の情報発信としてLINE などがあるので、今後、使いやすい方法を検討していきたい。

【委員】

「砂場・遊具更新事業」、「フローリング修繕事業」、「保育・教育の質向上支援事業」の3事業とも町立園だけになっているので、基本目標として「子育てにやさしい良好な環境づくり」を目標に掲げているのであれば、町立園に限らず取り組んでいただきたい。

【事務局】

「国府保育園の砂場・遊具更新事業」については、まずは、町立園から更新を始めているもの、「たかとり幼稚園のフローリング修繕事業」については、台風による浸水被害等により、劣化していたフローリングの修繕を行ったものである。

「保育・教育の質向上支援事業」については、最初は町立園から導入をしていき、今後、町内の民間園へも展開をしていく方向で考えている。

【委員】

「産前・産後ヘルパー派遣事業」について、緊急を要する事態に対して、どのぐらい対応ができるものなのか。

【事務局】

こども家庭センターを設置したことにより、ケースワーカーや専門職の方がいるため、緊急を要する場合には、まずは、こども家庭センターに問い合わせしていただき、今後の対応について相談していただく形になると考えている。

【委員】

「こども・若者みらいわくわく提案事業」の若者の居場所について、年度内開設とのことだが、現状の進捗状況を教えていただきたい。

【事務局】

公共機関の空き部屋を利用し、週 1 回程度の開設、参考書の寄贈に向けた調整等、提案者よりアイデアが出ているため、事業実現に向けて提案者と打ち合わせや調整を行っている。

【委員】

学童保育について、利用数が多く感染症にならないか心配になる方や外遊びを多く取り入れて欲しいとの要望をしているが、実現していただけないという話をよく聞く。学童の現状について教えていただきたい。

【事務局】

各学童保育所の定員は大磯学童が 193 名、国府学童が 149 名となっており、8 月末時点の登録利用人数は大磯学童が 202 名で国府学童が 138 名となっている。

国府学童については、利用人数が増えてきたことにより、令和 7 年度からは学校並びに PTA のご協力のもと体育館 2 階の PTA ルームを新たな活動場所として利用をしている。

また、外遊びについて、今年度は酷暑が続いていた関係で外活動をすることが難しかったと委託事業者からは聞いている。

(2) こども計画推進に係る意見・提案の整理について

事務局から、こども計画推進に係る意見・提案の整理についての説明を行った。

<意見等>

【委員】

歯の健康について、こどもへの指導も大事だが親への指導の方が大事だと考えているが、どこかで親に対して説明をする場はあるのか。

【事務局】

歯の健康や口腔については「歯の健康フェスタ」などで普及啓発に努めている。

また、大磯学童保育で行ったフッ化物洗口の実施に当たっては、事前に保護者の方へ説明を行い、さらに、希望する保護者には、実際にフッ化洗口を体験していただいた。

【委員】

学童施設で提供されるお弁当が 1 回 500 円で毎回利用できるものではない。今後の金額等変えることはできないか。

【事務局】

お弁当の提供に関しては、配達を行っていただける事業者が少ないことや、配達の分の金額が上乗せされることによって、安価での提供ができていないことが実状となっている。

ご家庭での負担を軽減する補助的なものとして認識をしていただければと思う。

（３）乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）について

事務局から、乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）についての説明を行った。

<意見等>

【委員】

12名が待機児童との話があったが、そのうち「こども誰でも通園制度」を利用する人数は何人いるか教えていただきたい。

【事務局】

全体の対象人数については、国が示した計算から、1日あたり12名程度と算出したが、実際に制度を利用する人数は、実施をしてみないと分からない部分がある。

【委員】

1歳児の人数が138名とのことだが、現時点で大磯町に住んでいる1歳児の人数でよろしいか。

【事務局】

大磯町こども計画でこども人口の推計値をお示ししており、138名は令和8年度の大磯町在住の1歳児の推計値である。

【委員】

一時保育を利用されている方は待機児童に含まれるのか。

【事務局】

含まれる。

【委員】

就労しているが園に入所できないため、仕方なく一時保育を利用している方もいると考えている。その方たちは就労をしているので「こども誰でも通園制度」の対象にならないという理解でよいか。

【事務局】

就労の有無ではなく、年齢と保育所等を利用しているか否かが条件となる。

【委員】

こどもを預けられる以外に、子育てに関して保護者が相談することは可能か。

【事務局】

お迎えの際に保育士などに相談をしていただくことは可能である。

その他

・令和7年度大磯町子ども・子育て会議の開催予定について

【事務局】

令和7年度第3回大磯町子ども・子育て会議は3月26日（木）に開催したいと考えており、内容は「大磯町こども計画進行管理書（たたき案）」及び「大磯町こども計画実施計画書（令和8年度から令和10年度）」を説明する予定である。

・「万博国際交流プログラム報告会」及び「こどもまんなか講演会」の開催について

【事務局】

11月15日（土）に開催をする「万博国際交流プログラム報告会」及び「こどもまんなか講演会」についてご都合がつく方はご参加いただきたい。

以上